

(2)農業の再生と振興策について
 ①当市では、平坦地の優良農地が宅地化により減少している。農業再生のために、それに代わる農地の確保ができないかお尋ねします。

②地産地消の推進に対する当市の取り組みについてお尋ねします。
 ③水稲の奨励品種「にこまる」の作付状況と消費者の評価についてお尋ねします。

市長 (1)①本市では、半導体関連

や自動車関連の企業の立地が多く、取引メーカーの大幅な減産による影響も大きくなってきている。主な進出企業に確認したところ、本年度予定されていた設備投資の延期や凍結、臨時休業日の設定等が計画されている。地場産業については、商工会議所等からの情報では、どの業種でも売上高が減少し、収益状況や資金繰りは悪化している。

②大村市内で現在建設中のマンションの分譲状況も好調と聞いており、現時点での大きな影響はないと考えている。

③これまででない深刻な状態であり、早急に検討していきたい。
 (2)①新たな優良農地も必要であるが、最優先課題は農地の保全確保である。保全については、中山間地域等直接支払制度事業等に取り組んでいる活動組織を

支援している。農地の確保については、耕作放棄地の発生を防ぎ、田畑が農地として復帰した等の効果が上がっている。

農林水産部長 ②県央地域農産物直売連絡協議会で生産、販売技術等に関する情報交換が行われている。市もこの協議会とともに地産地消を推進していきたい。
 ③平成20年は60haと作付は順調に伸びており、消費者からもおいしいという評価を得ている。

(その他の質問事項)
 ・生ゴミのリサイクルによる資源循環型社会の構築と歴史観光立市への取り組みについて

九州火力発電所跡地に

メガソーラー

(大規模太陽光発電システム)を誘致しては

辻議員

(1)郡川整備の進捗状況と今後の計画について

11月より工事中工がなされているが、今後の予定はどのようなになっているのか？遺跡調査の状況と、福重橋の架け替えがあると思うが、その時期はいつ頃の予定か？また、由緒ある郡川の飛び石の復活については、地元でも大きな期待をしている。長崎街道の歴史ある所と思うので、市当局においても、県に強

く要望をしていただきたい。
 (2)九州火力発電所跡地における再利用計画の現状について

解体工事が平成18年8月に終了しているが、その後の状況はどのように進んでいるのか？

計画がまだ無いようであれば、九州電力では、新エネルギーとして、メガソーラー(大規模太陽光発電システム)の開発がなされている。跡地に県と協力して、誘致を強く要望してはどうか？CO₂の排出もなく、全日照の場所でもあり最適地と思うが。

市長 (1)平成20年度には、河川拡

幅工事にかかわる土地の黒丸遺跡の調査を完了し、現在、郡大橋上流左岸に延長480mの築堤及び護岸工事に着手している。24年度までの改修5カ年計画によると、21年度から22年度事業は、主に平四郎井堰の改修と護岸工事である。23年度から24年度には、本城井堰の改修工事を実施予定である。25年度以降に国道橋の架け替え工事が計画されている。

飛び石については、市も関心を持っており、支援や協力はやっていきたいが、県事業でやっていたらどうよう努めたい。

商工観光部理事 (2)利活用につ

いては、所有者の九州電力と長崎県、大村市の3者で協議を行っ

ている。九州電力は、旧本館跡地4.4haについては、企業誘致の用地として利用可能であるが、灰捨て場の用地は、建物等を伴う利活用や企業誘致は困難であるとの判断である。新エネルギーの開発については、九州電力の方へ、大村発電所跡地を活用した太陽光発電をやっているだけないかということをお尋ねし、副市長が同行して要請をしていく。

副市長 時間がかかるということであるが、県と同一歩調をとって誘致を進めていきたい。

(その他の質問事項)
 ・企業誘致用地の開発予定について



遠方に見えるのが九電跡地